

今村翔吾著

塞王の楯

をめぐる



「塞王の楯」ゆかりの滋賀をめぐる

今村翔吾氏



撮影 佐藤章広

一 大津市 穴太衆と天津城決戦ゆかりの地

二 長浜市 国友衆と豊臣秀吉ゆかりの地

三 愛荘町 近江の戦国大名佐々木六角氏に
仕えた目賀田氏ゆかりの地

四 甲賀市 伏見城の戦いの勝敗を左右した
忍びゆかりの地

五 近江八幡市 天下統一を目指し安土城を
築城した織田信長ゆかりの地

広域関連イベント／家紋スタンプラリー／重ね押しスタンプラリー

滋賀びわ湖



画 森田舞

「塞王の楯」ゆかりの地

滋賀をめぐる

今村翔吾著「塞王の楯」は全編を通して滋賀県が舞台になっています。そして作品の中で描かれる滋賀・びわ湖には、今も変わらず滋賀で暮らしている私たちが日々体感しているものがたくさんあります。ぜひ、実際にゆかりの地を訪ねて作品の世界観を体感してください。



第166回直木賞受賞作品
今村翔吾著「塞王の楯」
「最強の楯」×「至高の矛」
近江の国・大津城を舞台に、
石垣職人「穴太衆」と
鉄砲職人「国友衆」の宿命の対決を描く
究極のエンターテインメント戦国小説
集英社刊 定価2,200円(税込)



作家 今村翔吾氏

1984年京都府生まれ。滋賀県在住。ダンスインストラクター、作曲家、守山市埋蔵文化財調査員を経て作家デビュー。「童神」で第10回角川春樹小説賞を受賞。「童神」は「童の神」と改題/角川春樹事務所)。第160回直木賞候補(2018年下半年)にもなった。2020年「八本目の槍」(新潮社)で第41回吉川英治文学新人賞、第8回野村胡堂文学賞受賞。「じんかん」(講談社)で第163回直木賞候補、第11回山田風太郎賞受賞。2021年『羽州ぼろ蔵』シリーズ(祥伝社)で第6回吉川英治文庫賞受賞。2022年「塞王の楯」(集英社)で第166回直木三十五賞受賞。また、講演・テレビなどに出演するほか、2021年11月には大阪府箕面市にある書店を事業承継し「きのしたブックセンター」の書店経営を行う。TBS報道番組(JNN系列)『Nスタ』レギュラーコメンテーター出演中。
撮影:佐賀章広

大津市 穴太衆と大津城決戦ゆかりの地

穴太衆積み

延暦寺の門前町坂本には、穴太衆と呼ばれる石工集団がいました。穴太衆が組む石垣は、「石の声を聞け」という口伝に象徴されるように、自然にある石を加工しない巧みに組み合わせる「穴太衆積み」という技法で作られ、その堅牢さから戦国時代の城作りに大きな影響を与えました。現在でも大津市坂本では美しい穴太衆積みの石垣を見ることができます。

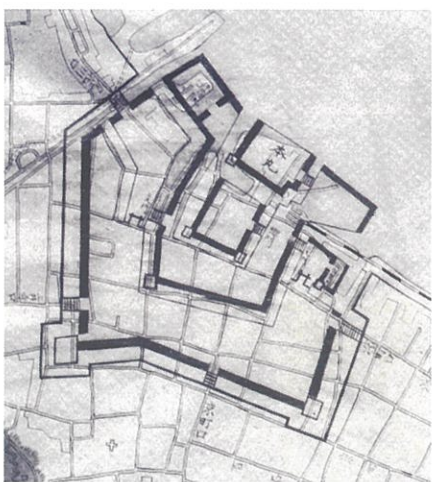
立花宗茂と大津・膳所

筑後柳川城主立花宗茂(1567~1643)は大津城の戦いで西軍として参加し、戦功を挙げました。関ヶ原の戦い後、一度改易されますが、ほどなく徳川家康・秀忠に認められて奥州棚倉を経て旧領柳川に戻りました。その宗茂の養女が嫁いだのが膳所藩主本多康俊の嫡男俊次でした。宗茂と俊次は茶器を贈りあったり、俊次の子の将軍家光へのお目見えに宗茂が同道したりなど、深い関係にありました。両家の関係は子孫にも続き、俊次の孫娘が宗茂の孫に嫁いでいます。

大津百艘船

豊臣秀吉は水陸交通の要衝で京への東玄関となる大津の港にいち早く注目。水運の発展と軍事利用のため、湖上での特権と保護を条件に「大津百艘船」を組織し、船奉行を置いて琵琶湖の水運を支配下に納めました。輸送には「丸子船」と呼ばれる琵琶湖特有の船が使われ、最盛期の江戸中期には約1300艘もの船が運航していたと記録されています。

大津城



「大津城考証図」

大津城の規模については、現在縄張りを示すような当時の古絵図は残っていませんが、明治以降の復元資料によると本丸は琵琶湖中に島のように浮かび、本丸を守るように奥の一の丸、二の丸、三の丸、伊予丸が3重の堀をめぐらせて配置された水城だと考えられています。大津城の戦いの後、廃城となり、後に膳所城が築かれました。

大津城 アクセス●JR大津駅より徒歩15分、京阪びわ湖浜大津駅より徒歩2分／お問合せ●びわ湖大津観光協会 Tel 077-528-2772



重要文化財「大津百艘船関係資料」
大津市歴史博物館蔵



坂本の町並み アクセス●JR比叡山坂本駅より徒歩10分、京阪坂本比叡山口駅よりすぐ／お問合せ●坂本観光協会 Tel 077-578-6565



大津市歴史博物館
時間●9:00~17:00(入館16:30まで)
休館日●月曜日(祝日・振替休日の場合は開館し、翌日が休館)、年末年始
入館料●大人330円、小中学生160円
アクセス●JR大津京駅より徒歩15分、京阪大津市役所前駅より徒歩5分
●Tel 077-521-2100

①大津城特集ミニ展示コーナー
わずかに15年ほどしか存在しなかった大津城。しかし、その果たした役割は実に大きいものでした。この時に現在につながる大津の町並みが形成され、大津百艘船と呼ばれる琵琶湖水運の集団を組織しました。また、慶長5年(1600)9月に行われた大津城の戦いは、結果として関ヶ原の戦いの東軍勝利に貢献しました。このミニ展示では、数少ない大津城や大津城の戦いに関する資料を紹介します。

②講演会「大津城の戦いについて」
慶長5年9月、大津城をめぐる激しい攻防戦が繰り広げられました。近年注目されはじめた大津城の戦いについて、史料に基づいてその実態を明らかにします。
開催日●令和4年8月27日(土)、10月23日(日)／時間●14:00~15:00(13:30開場、講演終了後自由観覧)／参加料●500円
申込み●WEBで事前申込み制 <https://airrsv.net/seminar-otsu/calendar>

3 (公社)びわ湖大津観光協会 Tel 077-528-2772

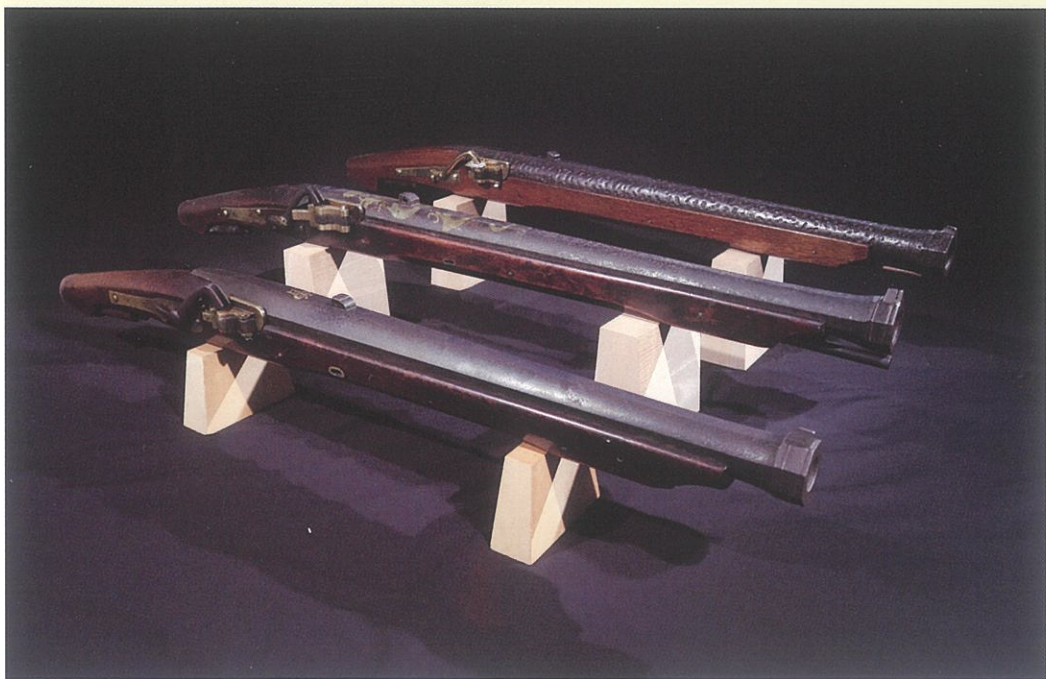
長浜市

国友衆と豊臣秀吉 ゆかりの地

国友衆の 技術力は日本一

近江・国友は和泉・堺と共に、火縄銃の生産地として知られています。多い時には、

73軒の鍛冶屋と500人に及ぶ鍛冶師が住んでいたといわれています。幕府直属の鍛冶師「御鉄砲鍛冶」として、紀州尾張などの大藩はもとより、全国の藩から鉄砲を受注していました。その藩主である大名や藩お抱え砲術師の需要に応じて、火縄銃の製造を行いました。



国友の 大筒(鉄砲)

国友では、大きく3段



階の分業を経て火縄銃を製作していった。まず、ねじ切りの工程ののち、銃身に火皿(点火薬を入れる受け皿)、両目当が取り付けられます。その後、銃床を製作する台師の元に運ばれます。銃床の材料としては、白樫が利用されることが多かったようです。最後に、金具師が点火するための装置であるカラクリ部を取りつけることで、当時日本中の諸侯に重宝された高性能の鉄砲が仕上がりました。

現代に生きる 国友衆廣瀬一實さん

現在、国友鉄砲を整備出来る人は、廣瀬一實さんにおいて他にいません。鍛冶師、台師、金具師という三つの

職人の技をひとりでごなすマルチ職人。運がよければ国友鉄砲ミュージアムで目にかかれるかもしれません。



廣瀬一實さん

国友では 出雲の鉄を使用!?

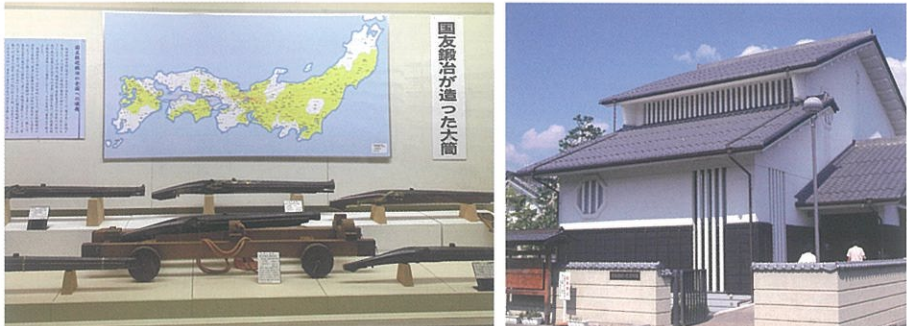
鉄砲の材料となる鉄は、良質な磁鉄鉱微粒子を含んだ上質なものが使用されました。鉄砲の産地として有名な堺では、伯耆の鉄を用いることが多かったようですが、国友では出雲の鉄を多く使用しました。国友の鍛冶師たちは、鉄の購入を鉄商人に頼るだけでなく、鉄の質を調査するため、出雲まで出かけるほど材料にこだわりを持っていました。

国友の石碑(いしづみ)

鉄砲鍛冶師、木の部分を作る台師、引き金などを作る金具師だった屋敷跡には石柱が立てられています。国友村全体が火縄銃作りの工場だったことが一目瞭然。鉄砲鍛冶師たちの神様である「伊都岐島神社」や鉄砲鍛冶師であり科学者でもあった国友一貫斎のお屋敷や菩提寺の因乗寺などその当時の雰囲気を感じていただけます。

国友鉄砲ミュージアム

長浜市国友町にある火縄銃専門のミュージアムです。館内では、国友の歴史・文化や、日本のエジソンと呼ばれた天才発明家、国友一貫斎の業績等をマルチスライド、ジオラマ、そして実物展示などでわかりやすく紹介しています。大小合わせて約40挺の実物の火縄銃があり、実際に手にすることが出来ます。ずっしりとした重量感を味わってみてください。



国友鉄砲ミュージアム 時間●9:00~17:00/休館日●年末年始(12月28日~1月3日のみ休館)/入館料●大人300円、こども150円/アクセス●JR北陸本線「長浜駅」から湖国バス乗車で約15分。バス停「国友鉄砲の里資料館前」降りてすぐ/お問合せ●Tel 0749-62-1250

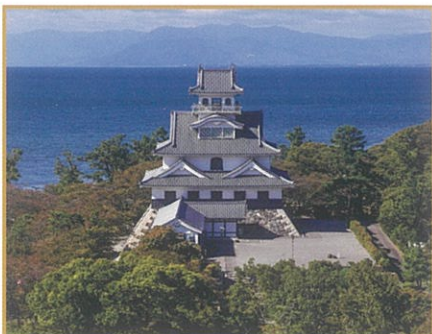
ツアー 情報

①北びわこハイキング「鉄砲の里“国友”を訪ねて」

小説「塞王の橋」に登場する国友鉄砲。そのゆかりの地「国友鉄砲の里」を訪れます。国友町内にある鉄砲鍛冶師屋敷跡等を地元作家の解説付きで巡ります。また、鉄砲ミュージアムでは火縄銃を手に取り、鍛冶師の技を実感します。火縄銃の組み立てなど地元研究会の実演もお楽しみに。時間●10月8日(土) 10:00(JR長浜駅集合)~16:00頃(JR長浜駅解散)/参加料●500円(保険料、資料代等)別途、片道バス代350円、資料館入館料300円が必要/定員●30名/申込み●事前予約制(10月1日締切)/長浜観光ボランティアガイド協会(四居家) Tel 0749-65-0370 Fax 0749-65-0380

②戦国ミュージアムバス

所要時間は約2時間のJR長浜駅東口を発着する観光循環バスです。コースは鉄砲鍛冶で有名な国友鉄砲ミュージアムと浅井氏の居城「小谷城」に関連した展示を行う、小谷城戦国歴史資料館です。途中、戦国ガイドステーションに立ち寄り「穴太積」の石垣をご覧いただけます。またバス車内ではガイドがご案内! コース●長浜駅一國友鉄砲ミュージアム一戦国ガイドステーション一小谷城戦国歴史資料館一長浜駅/運行日●令和4年8月6日(土)、7日(日)、20日(土)、21日(日)/乗車料●大人1,000円 小学生500円(※乗車料に入館料は含みません)/定員●各便15名 時間 午前便 10:30発、12:45帰着。午後便 13:30発、15:45帰着/申込み●事前予約優先 長浜観光協会ツアーセンター Tel 0749-53-2500



長浜城歴史博物館

時間●9:00~17:00(入館16:30まで) 休館日年末年始、※展示替等により臨時休館あり 入館料●大人410円、小中学生200円 アクセス●JR琵琶湖線(北陸本線)長浜駅から徒歩7分、高速道路北陸自動車道長浜ICから車で15分 ●Tel 0749-63-4611

イベント 企画展

①「国友一貫斎 一発明とその夢」(仮題)

国友一貫斎は、坂田郡国友村出身で、江戸時代における発明家・科学者として知られ、その業績は、火縄銃や気砲、反射望遠鏡の製作など多岐にわたります。本展では、国友藤兵衛(一貫斎)家史料調査の成果報告とともに、地域の偉人の業績に迫ります。/期間●令和5年2月4日(土)~3月26日(日)/会場●長浜城歴史博物館



②特別講座「国友一貫斎」(仮題)

開催日●令和5年2月19日(日) 13:30~15:00/参加料●500円/その他●事前申込み制(長浜城歴史博物館まで) 長年、国友一貫斎の研究に携わってきた富田良雄先生に一貫斎の魅力についてお話をいただきます。

全国の目賀田氏を
結ぶ地「目賀田城址」

本能寺の変、勃発。三河へ向かう家康に同行せず京へ向かったとの記録が残る、目賀田堅政。その目賀田堅政の妹婿、水野忠重は、明智光秀の追手から逃れ京極高次の大津城へ入ったと記録があります。

明智方についた堅政は浪人となり、慶長2年(1597年)に居城・目賀田城は廃城に。現在、目賀田城址には土塁等が残り、また当地には全国の「めかた」「めがた」「めかだ」「姓の方々による全国目賀田会事務局



目賀田城址 アクセス●名神「湖東三山スマートインターチェンジ」より約5キロ
お問合せ●愛荘町観光協会
Tel 0749-42-7683

長老の言い伝え、
痕跡発見
「豊満神社」

中世以前から続く鎮守の神・豊満神社。このお社を代々守り続ける長老たちに今も伝わる話。「信長軍の兵士がうっかり、たいまつか何かの火を四脚門に燃え移らせてしまったそうです」(大橋良造宮司)。確かに豊満神社に残る古文書には「元亀兵乱二引失ス」―信長と反信長が戦いを繰り返す

「目賀田城・御城印」
カード

城址付近の古地図と目賀田氏の代表的な家紋「平四ツ目紋」「三つ盛抱き花杏葉」をデザイン。湖東三山館あいしょう、愛荘町立歴史文化博物館で販売。300円(税込)。



が置かれ文化や歴史の継承活動を行っています。

甲賀市

伏見城の戦いの勝敗を
左右した忍びゆかりの地

伏見城の戦いの勝敗を左右した忍び働き

慶長5年、関ヶ原の合戦の前哨戦にあたる伏見城の戦いにおいて、浮貝(鶴飼)藤助という甲賀忍者が城内にいる甲賀忍者に寝返るよう説得したことがきっかけで戦

況が一変した逸話が「改正三河後風土記」には記されています。またこの様子は「関ヶ原合戦図巻」にも矢文を放つ藤助の姿がしっかりと描かれています。



観光インフォメーションセンター甲賀流リアル忍者館 時間●10:00~16:00/休館日●月曜日(祝日の場合営業)・年末年始/入館料●無料/アクセス●JR草津線「甲南駅」からコミタクで「忍の里プラ」下車すぐ ※事前予約乗合タクシー(Tel 0748-86-4181)/お問合せ●Tel 0748-70-2790

伏見城の戦いで活躍した甲賀忍者ゆかりの寺

長福寺 本心鏡智流を創始、
槍の名手を生み出した

甲賀市甲賀町田堵野にある長福寺の本尊木造聖観音坐像は国指定重要文化財に指定されています。境内には江戸甲賀百人組内の梅田勘十郎組の位牌・供養塔が残されています。この梅田一族こそが本心鏡智流の槍術の祖です。

時間●開門時いつでも可
拝観料●無料/アクセス●新名神「甲賀土山」ICより
●Tel 0748-88-5111



唯称寺 江戸から故郷を偲ぶ

江戸甲賀百人組の内、山中福永組10人の墓が残っています。江戸甲賀百人組は、与力10人・同心100人で編成された甲賀武士団で、江戸幕府の命により江戸(現・青山付近)に移り住み、江戸城百人番所に勤め、江戸城大手三門の守備に当たった者たち。嘉永2年(1849)にその子孫たちが先祖の250回忌法要のため、甲賀のそれぞれの出身地の寺に集団位牌や石碑を残したとされています。

時間●開門時いつでも可
拝観料●無料/アクセス●新名神「甲南」ICより15分
●Tel 0748-62-3932



慈眼寺 伏見籠城の士の墓と位牌が残る

江戸甲賀百人組、望月嘉左衛門によって、慶安3年(1650)に建立。嘉左衛門の父・津之助は慶長3年(1600)伏見城の戦いの功績で甲賀組の与力となり、甲南・野田に200石余りの所領を賜りました。

時間●開門時いつでも可
拝観料●無料/アクセス●JR甲南駅より徒歩15分、新名神「甲南」ICより10分
●Tel 0748-86-4813



称名寺 多喜一族の御霊を祀る

運営上人、音誉聖観上人などの名僧を輩出する由緒ある名刹。伏見城の戦いで甲賀忍者100人を引き連れて活躍した山岡景光の墓石、甲賀二十一家に数えられる多喜一族を代表する瀧飛驒守の墓石も残されています。

時間●開門時いつでも可
拝観料●無料
アクセス●JR甲賀駅より徒歩10分、新名神「甲南」ICより8分
●Tel 0748-88-3759



朱漆塗草薙延腰取二枚胴具足(伝井伊直孝所用)。彦根城博物館が収蔵する「赤備え」(彦根藩の軍装)の甲冑。春田氏も井伊家歴代当主に御召具足をおさめていた。画像提供:彦根城博物館/DNPartcom

開係者みな驚きでした。伝説は本当だっ

たかもしねせんね(笑)。



豊満神社 アクセス●近江鉄道愛知川駅より徒歩約20分
お問合せ●Tel 0749-42-3448/※焼け跡は再塗装され現在は見られません。

織田、そして井伊
具足師の系譜
「春田家」

春田家の由緒書によると、春田家初代の具足師村田弥四郎は織田信長に御目見えし、ためし具足を献上したと伝えられています。ためし具足とはその名のおり鉄砲攻撃からの防御力を試すための甲冑で、弥四郎の甲冑は信長から高評価。土橋村(現在の愛荘町石橋)に屋敷地一町四方のほか御朱印、太刀などまで賜ったとか。

近江八幡市

天下統一を目指し安土城を築城した織田信長ゆかりの地

安土城跡

織田信長は重臣の丹羽長秀を総譜請奉りに据え、標高199mの安土山一帯に安土城を築城。ここで培われた築城技術が、安土桃山時代から江戸初期にかけて築城された近世城郭の範となりました。この石垣を構築した石垣職人集団は、その後全国的な城の石垣普請に従事し広がってきました。



安土城跡(虎口)

安土宗論(浄厳院)

信長が安土城の築城とともに伊賀と近江の浄土宗と法華宗の間で、「安土問答」が行われました。寺院。天正7年(1579)浄土宗と法華宗の間で、

安土城跡 時間●8:30~17:00(入場受付最終16:00)※季節により変動あり。摺見寺特別拝観は、8:30~15:00まで(実施日のみ) / 休館日●年中無休(荒天・積雪の場合は閉山あり) / 入山料●大人700円 小人200円(高校生以下) ※摺見寺特別拝観には、別途500円(抹茶と菓子付)が必要 / お問合せ●Tel 0748-46-6594(安土山受付)



安土城郭資料館 時間●9:00~17:00(最終入場16:30) / 入館料●大人200円 高生150円 小人100円 / アクセス●JR安土駅南口よりすぐ / ●Tel 0748-46-5616



築城の様子(安土城郭資料館)

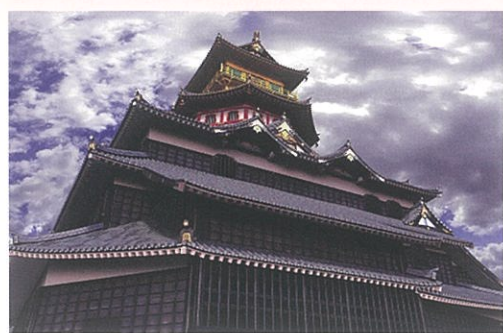
念仏」と称されるように、大変威勢がよく、浄厳院独特のものとして残っています。

安土城の蛇石

天正四年(1576)、信長は安土城築城にとりかかりました。「蛇石」という大きな石を安土山へ引き上げる際、1万人の人力を出すとともに、信長自ら指揮をとり三日三晩でやっと天主へ引き上げましたが、この引き上げ時に、石が滑り落ち、150人以上の人力夫が下敷きになったといわれています。現在二の丸の入口に、直径2メートル厚さ80センチの石があり、これが蛇石なのかどうかは不明ですが、安土城の謎の一つです。

VR絢爛安土城

発掘調査や研究資料に基づき、安土山に建てられた安土城と家臣の屋敷、城下町をCGで再現したシステムで信長の人生の集大成とも言える安土城をフロイスの視点から描いたショートムービー。絶頂にあった信長らしい迫力のある仕上がりで、ロマンや歴史を感じられます。



近江八幡市提供・天主復元案 / 内藤昌氏監修



滋賀県立安土城考古博物館

中世の城づくり、戦国時代の近江、安土城と織田信長、近世の城郭などをテーマに展示しています。

時間●9:00~16:30(閉館17:00) 入館料常設展●大人500円、高大生320円 休館日●月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始(12/28~1/4) アクセス●R安土駅より徒歩25分。レンタサイクル10分 お問合せ●Tel 0748-46-2424

ツアー情報

①ふれあいハイキング~ぶらり安土まちなか~

安土町観光ボランティアガイドが毎月第二日曜日に案内する、予約不要の安土城跡無料ガイド! 安土駅出発の約2.5時間コース、約4キロのハイキングです。信長隊安土衆に見送られ出発します! 雨天時中止(当日朝7時の時点で案内所Facebook→

<https://www.facebook.com/Azuchi.tour.info>にアップ)

時間●10:00 安土駅(北口)信長公像前に集合 参加料●無料 ※安土城跡の入山料は各自支払 定員●なし / 申込み●事前申込み不要



②明智光秀伝屋敷跡(八日堂)

安土城下に残る、明智光秀の伝屋敷跡とされる八日堂には弁天様が祀られています。

広域関連イベント

出張お城EXPO in 滋賀・びわ湖 2022

お城EXPOはお城好きの方々との交流を目的として、毎年横浜で開催される国内最大のお城イベント。そのイベントが滋賀県に出張して「出張! お城EXPO in 滋賀・びわ湖」として開催されます。会場ではお城にまつわる厳選プログラムや数々の展示、墨絵師御歌頭(おかず)先生の迫力ある絵もご覧いただけます。またイベント開催に合わせてツアーも実施。ぜひ、おでかけください。

開催日時●令和4年9月18日(日) 9:00~17:00(※最終入城16:30) / 会場●あいこうか市民ホール、碧水ホール、甲賀市まちづくり活動センター「まる一む」 / 入場券●前売券500円、厳選プログラム(入場券+講演会聴講券)2,300円、限定御城印帳付き厳選プログラム(入場券+講演会聴講券 ※限定御城印帳付き)3,800円 当日券700円、厳選プログラム(入場券+講演会聴講券)2,500円 / 主催者●出張! お城EXPO in 滋賀・びわ湖実行委員会 / ●詳しくはこちらのホームページで → <https://shiroexpo-shiga.jp>



ツアー情報

①甲賀忍者と行く! 甲賀の城郭めぐりツアー

甲賀市内の中世~江戸時代のお城7城(水口城・土山城・新宮城・新宮支城・寺前城・村雨城・竹中城)を巡るツアーを実施。全7城の御城印付きで超お得!!

日時●9月17日(土) 12:30 JR貴生川駅出発 / 定員●20名 参加料●3,300円

②2023年大河ドラマ先取り!

徳川家康ゆかりの地めぐりツアー

甲賀伊賀越えて一夜を過ごした小川城、徳川家4代までの位牌が残る

大阪・お城フェス2022

この夏、グランフロント大阪で、大阪では初となる「お城イベント」大阪・お城フェス2022が開催されます。全国からお城好きが集まるこのイベントに津市も参加! 「塞王の橋」に描かれた津市を中心とした津市の魅力を発信します。また、ご城印などグッズも販売します。このほか、会場内ステージでは穴太衆積みの伝統と技を引き継ぐ現代の「塞王」栗田純徳氏と今村翔吾先生のトークセッションも開催。ぜひご来場ください。

会期●令和4年8月12日(金)~14日(日) 10:00~17:00 ※最終入場16:30 / 会場●グランフロント大阪B2ナレッジキャピタルコンベンションセンター / ●詳細情報はこちらをごらんください。 <https://www.tv-osaka.co.jp/event/shirofes/>



今村翔吾氏講演会

直木賞作家今村翔吾氏による講演会を開催します。詳細情報は今後ホームページでお知らせしますのでチェックしてください。

日時●令和5年2月4日(土) 14:00~15:30(受付13:00) 予定 / 場所●津市民会館大ホール / 料金●無料 / ●詳細情報は順次ホームページでお知らせします。 <https://otsu.or.jp/>



応募方法

1 このページに記載されている10箇所のスタンプポイントをめぐるスタンプを応募用紙に押します。
※有料施設内にスタンプが設置されている場合は、施設入場料等が必要になります。

2 スタンプの種類はポイント毎に違います。種類の違うスタンプを4つ以上押したら応募可能です。

3 応募用紙は最期のスタンプポイントで投函するか郵送でお送りください。

□**応募期間**
令和4年8月1日(月)～令和5年2月28日(火) 必着

□**抽選結果**
令和5年3月中旬頃、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

□**個人情報の取扱について**
スタンプラリー応募にあたってご提供いただいた個人情報は、以下の目的でのみ使用いたします。①当選者への賞品の発送 ②上記に関する連絡 ③事業の参考とするための個人を特定しない統計情報の形での利用。
いただいた個人情報は、応募者ご本人の同意がある場合を除いて、第三者に提供されることはありません。

賞品

砲仙賞 5名様
スタンプ4個



(イメージ)

滋賀の物産 2,000円相当

塞王賞 3名様
スタンプ10個



近江牛 10,000円相当



(イメージ)



Wチャンス
塞王の楯賞 10名様
今村翔吾先生のサイン入り本

9 安土山ガイダンス施設「城なび館」(近江八幡市)

設置場所 館内無料スペース

城なび館は、安土城跡のふもとにある観光とおもてなしの拠点です。安土城天主上層部1/7雛型模型の展示、安土城下町から出土した遺物の展示、楽市楽座で有名な「安土山下町中掟書」の実物大パネル展示などを通して、安土城と城下町の暮らしに触れることができます。



10 安土城郭資料館(近江八幡市)

設置場所 100名城スタンプコーナー

内部まで精巧に復元した1/20スケールの幻の名城「安土城」や安土桃山時代を描いた屏風絵風の陶板壁画などを展示しています。喫茶や土産コーナーもあります。
※P8参照



2 滋賀院門跡(大津市)

設置場所 受付付近

穴太衆積み美しい石垣の上に土堀がめぐらされ、堂々とした外観の滋賀院門跡は、天台座主(ざす)の御座所として地元では滋賀院御殿と呼ばれています。約一万坪の敷地内には見どころも多く、中でも狩野派のふすま絵と小堀遠州作の庭園は必見です。



5 目賀田城址(愛荘町)

設置場所 目加田公民館駐輪場(目賀田城跡公園隣接)

近江の戦国大名、佐々木六角氏に仕えた目賀田氏。その居城跡は目賀田城跡公園として整備され、城館の周濠跡、比高3mの土塁が残されています。解説板の古地図に描かれている舟入は発掘・確認されており、横を流れる岩倉川經由て琵琶湖へとつながっていました。戦国時代は水運が盛んであったことが想像されます。※P6参照



ことが想像されます。※P6参照



8 大池寺(甲賀市)

設置場所 本堂

行基菩薩が訪れた際、灌漑用水として「心」という字の形に4つの池を掘り、その中央に寺を建立し、「一刀三礼の釈迦丈六坐像」を安置した伝承があります。1577年に戦国の兵火に遭うが、1670年に仏殿、庫裡が完成し再興されました。織田信長の甥である織田主水正信は当地の地頭で、大池寺再建のため多くの寄進をし、大池寺の開基となりました。



1 三井寺(大津市)

設置場所 三井晩鐘横 納経所

大津城攻撃のため西軍が本陣を敷いた長等山の中腹にある三井寺。一説には観音堂あたりから砲撃を行ったと言われています。一時期豊臣秀吉に關所(けっしょ)を命じられ、ことごとく堂宇を解体されましたが、後に毛利輝元や徳川家康など五大老の働きかけにより復興しました。



4 慶雲館(長浜市)

設置場所 受付横

明治20年に長浜の豪商・浅見又蔵氏が、明治天皇行幸に合わせ、私財を投じて建設した迎賓館。「慶雲館」という名称は、その荘厳美麗な姿から、時の内閣総理大臣・伊藤博文が命名したと言われています。広大な庭園は、近代日本庭園の先覚者と呼ばれた七代目小川治兵衛による作庭で国の指定名勝となっています。



7 甲賀の里忍術村(甲賀市)

設置場所 村内 売店

広大な敷地内に志能備神社 忍術博物館・からくり屋敷・手裏剣道場といった施設が点在しており、周囲は鈴鹿山麓の原生林にかこまれ、昔ながらの隠れ里の雰囲気をかもしだしています。甲賀忍者発祥の地で、大自然を満喫しながら・・・自らが忍者になった気分でお楽しみください。



塞王の楯をめぐる家紋スタンプラリー

滋賀県内5市町(大津市、甲賀市、近江八幡市、愛荘町、長浜市)にある合計10箇所のポイントで家紋スタンプを集めて応募すると抽選で素敵な賞品が当たります。また全応募者の中から今村翔吾先生のサイン入り本をプレゼントするWチャンスも。ぜひご応募ください。

3 長浜城歴史博物館(長浜市)

設置場所 受付横

湖北・長浜の歴史と文化を紹介する博物館です。羽柴(豊臣)秀吉が築いた長浜城が昭和58年に再興され、その内部が「長浜城歴史博物館」として公開されています。2、3階部分が展示室、5階の天守閣は展望台となっており、湖北・長浜の町並みや琵琶湖を一望することができます。※P5参照



6 近江上布伝統産業会館(愛荘町)

設置場所 入口付近

国伝統的工芸品・近江上布。その歴史は鎌倉時代、京の職人が当地に織物技術を伝えたことから始まったとされ、京極高清(高次の祖父)が足利幕府に献上した「細美(さいび)五端」、多賀大社が朝鮮出兵陣中見舞いとして豊臣秀吉へ贈った「帷子(かたびら)五端」など、いずれも近江上布のルーツであると考えられています。



1 三井寺

2 滋賀院門跡

3 長浜城歴史博物館

4 慶雲館

5 目賀田城址

6 近江上布伝統産業会館

7 甲賀の里忍術村

8 大池寺

9 安土山ガイダンス施設「城なび館」

10 安土城郭資料館

塞王の楯
をめぐる
~滋賀・びわ湖~

塞王の楯をめぐる 重ね押しスタンプラリー

各施設に設置されたスタンプをオリジナルの用紙に重ねて押しすと1枚の絵が完成します。

塞王の楯をめぐる滋賀の旅の思い出にご参加ください。

※有料施設内にスタンプが設置されている場合は、施設入場料が必要となります。

参加方法

- ① 最初の施設で台紙をゲット。
- ② 専用ガイドに台紙をセット(しっかり奥まで差し込みます)
- ③ スタンプを押します。
- ④ 4箇所の施設で同じように押していきます。
- ⑤ オリジナル絵はがきのできあがり!

1 大津市歴史博物館 (大津市)

設置場所 1階展示室入り口 ※P3参照



2 国友鉄砲ミュージアム(長浜市)

設置場所 受付前 ※P5参照



5 安土城郭資料館 (近江八幡市) ※P8参照

設置場所 100名城スタンプ押印コーナー



3 湖東三山館 あいしょう(愛荘町)

設置場所 館内

時間 ● 9:00~18:00 / 休館日 ● 火曜日(祝日の場合は翌日休み) / アクセス ● 国道307号、名神「湖東三山SIC」進入路交差点 / ● Tel 0749-37-2333

4 水口城資料館 (甲賀市)

設置場所 資料館内

時間 ● 10:00~17:00 / 休館日 ● 木・金曜日 / 入館料 ● 大人100円 ども50円 / アクセス ● 近江鉄道「水口城南」下車徒歩5分、新名神「甲賀土山IC」から15分 / ● Tel 0748-63-5577



●お問合せ

(公社)びわ湖大津観光協会

時間 ● 平日9:00~17:00 ● Tel 077-528-2772

(一社)甲賀市観光まちづくり協会

時間 ● 平日8:30~17:15 ● Tel 0748-60-2690

(一社)近江八幡観光物産協会

時間 ● 9:00~17:00 ● Tel 0748-46-4234 (安土駅観光案内所)

(一社)愛荘町観光協会

時間 ● 9:00~17:00 ● Tel 0749-42-7683

(公社)長浜観光協会

時間 ● 8:30~17:15 ● Tel 0749-53-2650

※新型コロナウイルスの感染拡大状況により、施設の入場制限やイベントの延期・中止をすることがあります。お出かけの際は事前に各施設までお問合せください。

※お客様からご提供いただきました個人情報を、本プレゼントの運営に関すること以外の目的で使用することはありません。

郵便はがき

63円切手を貼って下さい

5 2 0 0 0 3 7

滋賀県大津市御陵町2-3
びわ湖大津観光協会
「塞王の楯をめぐる」
家紋スタンプラリー 係

住所 〒

氏名

電話番号

切り取り線